

進路指導について

1 進路指導の目標

生徒一人一人の自己実現を目指し、教育活動全体を通じて次の点に重点を置く。

- (1) 自己の特性や課題を理解し、適切な進路選択ができる知識の習得
- (2) 自立した生活に必要な知識の習得と社会性の向上
- (3) 社会人としての自覚をもち主体的に社会参加していく意識の向上

2 進路指導の学年別目標

(1) 1 学年の目標

- ① 自己の能力や特性について理解し、働く力や生活する力など社会生活に必要な基礎的な力を身に付ける。
- ② 卒業後の進路に向け、経験の幅を広げる。

(2) 2 学年の目標

- ① 自己の能力や特性について理解を深め、働くことや生活することの意義を理解する。
- ② 適切な進路選択ができる知識の習得を目指し、卒業後の社会生活に向け目標を明確にする

(3) 3 学年の目標

- ① 社会人としての自覚と責任を持ち、夢や志を持って将来を設計する力を養う。
- ② 卒業後の進路を選択・決定し、新しい社会に参加できる力を身に付ける。

3 三年間の進路指導のながれ

	1 学 年	2 学 年	3 学 年	卒後支援
4	・ 保護者懇談	・ 保護者懇談	・ 生徒個別面談	・ 卒後支援・振興会総会
5	・ 生徒個別面談	・ 生徒個別面談	・ 保護者懇談 ・ 職業相談(一般就労・A型)	・ 巡回指導(10回生)
6	・ 第1回職場・福祉事業所見学	第1回現場実習(体験) 事前面談 現場実習(2週間) 自宅、GHから単独	・ 重度判定(一般就労・A型・進学)	
7	・ 進路ガイダンス	・ GH、ハローワーク、相談事業所見学 ・ 進路ガイダンス	・ 進路ガイダンス	
8				
9				
10	現場実習(体験) 事前面談 現場実習(1週間) 学校から引率	第2回現場実習(体験) 事前面談 現場実習(2週間) 自宅、GHから単独	現場実習(前提) 事前面談 前提実習(基本4週間) 自宅、宿自、GHから単独	・ 巡回指導(8・9・10回生)
11	・ 生徒個別面談 ・ 保護者懇談		・ 生徒個別面談 ・ 保護者懇談	
12	・ 進路ガイダンス	・ 生徒個別面談 ・ 保護者懇談 ・ 進路ガイダンス	・ 内定書交付式 ・ 進路ガイダンス	
1				
2	・ 第2回職場・福祉事業所見学		・ 三者懇談	
3	・ 生徒個別面談 ・ 四者懇談 ・ 進路ガイダンス 第1回進路希望調査	・ 生徒個別面談 ・ 四者懇談 ・ 進路ガイダンス 第2回進路希望調査	再実習 利用申請 相談計画 アセスメント 就労前面談 諸手続	・ 巡回指導(8・9・10回生) ・ 同窓会行事・総会 ・ 卒後支援・振興会役員会 ・ 同窓会入会式

4 現場実習の形態と進路決定

【1 学年】 現場実習〈体験：1 週間〉

- ・事前面接（本人、引率者）
- ・現場実習（5 時間／1 週間）
- ・引率実習、校内実習
- ・千歳市近郊の職場（一般）

実習先の選定
・生徒の実態に応じて学年で協議して決定

実習の評価
・引率者が評価

【2 学年】 第 1 回 現場実習〈体験：2 週間〉

- ・事前面接（本人、引率者）
- ・現場実習（6 時間／2 週間）
- ・単独実習、グループ実習、引率実習、校内実習（GH等を利用して実施する場合もある）
- ・自宅等から通勤可能な地域（一般、福祉）

実習先の選定
・進路希望調査、生徒の実態、前回の実習に応じて学年で協議して決定

実習の評価
・実習先担当者（引率者）が評価

【2 学年】 第 2 回 現場実習〈体験：2 週間〉

- ・事前面接（本人、引率者）
- ・現場実習（6 時間／2 週間）
- ・単独実習、グループ実習、引率実習、校内実習（GH等を利用して実施する場合もある）
- ・自宅等から通勤可能な地域（一般、福祉）

実習先の選定
・進路希望調査、生徒の実態、前回の実習に応じて学年で協議して決定

実習の評価
・実習先担当者（引率者）が評価

【3 学年】 現場実習〈前提：4 週間〉

- ・事前面接（本人、保護者、担任、進路）
- ・現場実習（8 時間／基本 4 週間）
- ・単独実習（自宅、GH、宿泊型自立訓練施設等）
- ・生活の場から通勤可能な地域（一般、福祉）

実習先の選定
・これまでの実習、四者懇談結果に応じて決定

実習の評価
・雇用、利用を前提に実習先担当者が評価

利用、雇用の受入可

現場実習の評価・受入の可否

利用、雇用の受入不可

- ・諸手続
- ・卒業後の利用、雇用開始

- 再実習
- ・現場実習（前提）に準じる